

顎口腔外科学

[M4-70077P1]

1 臨床実習の概要

口腔外科学実習では顎口腔領域の疾患について、診療を通して顎口腔外科学の主要な病態、診断、治療を理解すること、そして実習を通して疾患をもつ患者への医療人としての配慮、思いやりを学ぶこと、同時に医療チームのスタッフを尊重したチーム医療の大切さと重要性を体験することを目的とする。さらに顎口腔領域に隣接し関連する耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科領域の疾患の理解を通して、また周術期口腔管理を通して医科歯科連携の必要性和重要性を学ぶことを目的とする。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技術（診療の実践）
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探究心

3 臨床実習の学修成果（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 患者ならびに関わる多職種のスタッフと良好な関係を作ることができる（①④）
- 顎口腔領域の疾患を通して疾患を探究する方法（文献検索と理解など）を実践できる（②③⑥）
- 顎口腔領域の疾患の症例を自ら学び、まとめることができる（③⑥）
- 顎口腔領域の疾患の患者を通して
 - ・ 視診、触診など基本的な診察事項を理解し実践することができる（③）
 - ・ 咀嚼器官としての口腔の意義を理解する（③）
 - ・ 口腔は消化器官、呼吸器官とつながり、生命維持に重要な働きを担うことを理解する（③）
 - ・ 歯周病などの口腔疾患が全身に及ぼす影響について理解する（③）
 - ・ 歯性副鼻腔炎、顎関節症などが隣接する耳鼻咽喉疾患と関連することを理解し、鑑別することができる（③）
 - ・ 基本的な検査を理解し、結果を解釈できる（③）

- 歯科口腔外科学、矯正歯科、周術期口腔管理の医療にかかわる
 - ・ 多職種・チーム医療の必要性について理解する（④）
 - ・ 社会制度（育成医療、厚生医療など）を理解する（④⑤）

※主要な疾患、症候、検査、治療

症候

歯痛、口内炎、舌炎、顎関節症状、口腔内出血、歯肉腫脹、開口障害、咀嚼障害、動揺歯、咀嚼筋疼痛

疾患

齲蝕、口腔粘膜炎、歯周病、歯性副鼻腔炎、顎関節症、鉄欠乏性貧血（舌炎）、口腔カンジダ症、根尖性歯周炎、動揺歯の診断、睡眠時無呼吸症候群など

検査

齲蝕検査、歯周病検査、開口機能検査、画像診断、生活歯髄診断、顎機能検査、唾液分泌検査、口腔カンジダ症検査、唾液分泌検査、生検

治療

歯科治療、口腔外科治療（有病者治療など）、矯正歯科治療、顎関節治療、周術期口腔管理、挿管用マウスピースの作成、口腔外科手術（抜歯など）

4 方 略

病棟ならびに外来臨床実習、手術見学

5 事前事後学修について

臨床実習開始前に臨床実習ノートを確認すること

さらに各実習前日には講義、実習、手術内容の概略を説明し、事前学習が行いやすい環境を作る。自己学習（事前事後学修）に必要な時間はおおよそ実習1日あたり
予習：約1時間 復習：約1時間である。

6 課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

課題については初回の講義を通して概略の説明を行い、実習期間を通して各自が自主的にさらに理解を進めるよう工夫する。またレポートあるいは口頭試問については、形式にとらわれず、実習期間中に対話を行いながら、適宜フィードバックを行う。

7 評 価

- ・ 臨床実習の出席状況及び実習態度
- ・ 担当患者のレポート作成、提出
- ・ 課題の提出状況とその内容の評価
- ・ その他

上記の評価項目を別途定めた臨床実習の評価基準に沿って判定する。

8 実習スケジュール

別項参照

9 教 育 担 当 者

実習責任者：中野 旬之

担当教員： 中野 旬之、出村 昇、見立 英史、和田 悟史、蓮本 美穂、
澤井 恭久、山内 陽太

10 参 考 図 書 ・ 文 献

参考図書

口の中がわかる ビジュアル 歯科口腔外科学読本

監修 全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議（クインテッセンス出版）

※実習には必ずテキストを持参すること（実習開始日にテキストを配布します）

顎口腔外科学

臨床実習スケジュール表

第1週

※予習ノートは、第1週木曜日までに提出

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:45	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
		8:45									
月			歯科・口腔外科学 総論 担当:見立			昼休み	カルテの記載方法 担当:澤井		印象採得 担当:見立、DH		
火			外来見学 担当:中野			昼休み	歯科技工について 担当:山内、技工士				
水			手術見学 担当:中野、見立、澤井、山内							歯科外来 症例検討会	
木			外来見学 担当:中野			昼休み	クリニカル・スキルアッププログラム				
金			クリニカル・スキルアッププログラム			昼休み	クリニカル・スキルアッププログラム				

第2週

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:45	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
	8:45										
月		口腔粘膜炎について 担当:見立			昼休み	ブラッシング+スケーリ ング 担当:澤井、DH	周術期口腔機能管理に ついて 担当:澤井				
火		外来見学 担当:中野			昼休み	矯正治療について 担当:和田、蓮本	口腔機能と全身疾患 担当:中野				
水		手術見学 担当:中野、見立、澤井、山内							歯科外来 症例検討会		
木		総括 担当:中野教授			昼休み	クリニカル・スキルアッププログラム					
金		クリニカル・スキルアッププログラム			昼休み	クリニカル・スキルアッププログラム					

毎日の集合場所・時間： 病院1号棟1階 歯科外来受付前 9時、13時45分

※実習場所は都度、担当教員に確認すること。

※検査実習の時間は変更となる場合がある。

※遅刻、欠席の場合は秘書室まで連絡すること。

Tel:076-286-2211 (内線:27032) Mail:stoma@kanazawa-med.ac.jp

※実習には必ずテキストを持参すること ※歯科外来で実習の際は、必ずゴーグルを着用すること